

南極の蜃気楼の紹介（2009年に撮影）

武田 康男

第50次日本南極地域観測隊（越冬隊）

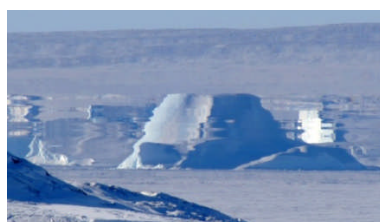
私は2008年12月に日本を発ち、南極で気水圏モニタリング観測に従事し、2010年3月に帰国した。その間、観測の合い間に撮影することができた蜃気楼を紹介する。これまでに南極の蜃気楼の写真はいろいろあるが、その変化としくみを知るために映像の撮影を重視したので、映像を中心に南極の蜃気楼の実態を伝えたい。

この紙面では映像が使えないので、私が興味を持った蜃気楼の写真を以下に示す。

1 氷山の蜃気楼



見えない氷山が逆さに



近距離の氷山の変形



多重の蜃気楼

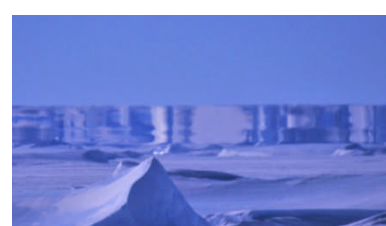
2 変わった蜃気楼



大陸上の蜃気楼



雲の蜃気楼

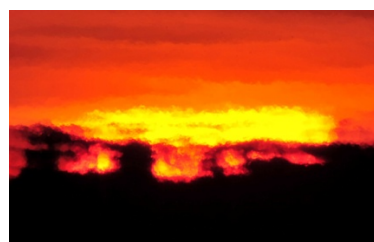


月明かりによる蜃気楼

3 太陽の変形



上部が複数に分裂



地平線から浮かぶ



いくつもの色の輝き

南極・昭和基地は湾の中の島にあって、冷気がたまりやすい地形になっており、周囲には氷山も多いため、蜃気楼観察にはとても都合がよい。また、太陽の形の変化もおもしろい。

※参考「世界一空が美しい大陸 南極の図鑑」武田康男著 草思社発行（2010年）